

新型コロナウイルス感染者の発生について【収束のご報告】

1月13日に当院で新型コロナウイルス感染が確認され、感染対策に努めてまいりましたが、その後も複数名の新型コロナウイルスの感染が発生いたしました。患者様やご家族、地域の皆さま、医療機関の皆さまにおかれましては多大なご心配とご不便をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

特に、感染された患者様、濃厚接触となった患者様につきましては、長期にわたるご入院になってしまい、大変ご迷惑をおかけいたしましたこと、重ねてお詫び申し上げます。

発生当初より、関連した患者様と職員に対して、新型コロナ感染症の検査を実施して参りましたが、1月31日以降、院内感染が疑われる新たな陽性者は確認されておられません。また、陽性となっていた患者様についても退院基準を満たしております。そのため、管轄保健所と協議の上、2月10日をもって、院内感染の収束と判断し、これまでの制限を全て解除し、通常の診療体制といたします。

今回の院内感染において、感染患者様を受け入れて頂いた医療機関、感染対策の指導をいただいた埼玉医科大学国際医療センター感染対策室、狭山保健所をはじめ関係諸機関の方々にご協力・ご支援をいただき深く感謝申し上げます。

当院では、今後も病院職員一丸となって感染防止策の徹底に努め、皆様に安心してご利用いただけるよう取り組んで参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和4年2月10日

社会医療法人東明会 原田病院
病院長 小澤 典行

これまでの累計（内、院内感染が疑われるもの）

入院患者様	職員	合計
12名	11名	23名
(12名)	(5名)	(17名)